

一般質問・質疑

6月15日、18日、19日の本会議では、15人の議員が、質問に立ち、高齢者施策や、離婚後のこども養育支援などについて、市の見解を求めました。また、29日には、特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について1人の議員から質疑がありました。

なお、発言者と質問項目の1覧は下段に、主な内容は2面から5面に掲載しています。

発言者一覧

— 発言順 — () は会派名

- 6月15日・18日・19日
- 宮坂 祐太**(民主連合)
- ①行政計画の策定
- 山崎 雄史**(真誠会・代表質問)
- ①高齢者施策 ②「食」を通じた地域の安心
- 佐々木 敏**(公明党)
- ①漁業振興 ②スクールガード ③建築基準を満たさない賃貸物件への対処
- 中西 礼皇**(未来市民)
- ①議案第57号 明石市職員の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例制定のこと ②明石市役所でのパワーハラスメント等への対策 ③明石市の広報の手法
- 寺井 吉広**(真誠会)
- ①離婚後のこども養育支援 ②国際性豊かなまちづくり
- 国出 拓志**(公明党)
- ①受動喫煙防止のため、通学路における歩きタバコ禁止条例を制定しないか ②市民の利便性向上のために ③昨年12月1日施行の施策
- 出雲 晶三**(未来市民)
- ①明石市の財政状況と今後の財政運営の見通し ②明石川の治水のためのJR橋梁の改修 ③国道2号和坂拡幅道路改築事業 ④山陽電鉄連続立体交差第2期事業
- 井藤 圭端**(真誠会)
- ①市制施行100周年事業及び明石城築城400周年事業の取り組み ②父子家庭への支援
- 松井 久美子**(公明党)
- ①2015年の国連サミットで採択された国際目標、SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けた今後の本市の取り組み ②共生社会の実現に向けて、ユニバーサルデザイン施設の整備を ③明石版こども食堂 ④母乳育児の大切さ
- 丸谷 聡子**(未来市民)
- ①市民とともに進めるエネルギーシフト ②子どもにやさしい放課後児童クラブの運営 ③地域総合支援センターの役割
- 梅田 宏希**(公明党)
- ①国と連携した地域経済の活性化 ②ふるさと納税の拡充 ③あかし動物センター開設後の経過
- 永井 俊作**(未来市民)
- ①市制100周年・明石城築城400周年の取り組み ②介護職員の確保 ③空き家の現状と活用 ④学校図書館の充実
- 楠本 美紀**(日本共産党)
- ①介護保険 ②ひきこもり対策 ③共生社会ホストタウン
- 家根谷 敦子**(スマイル会)
- ①共生社会の実現に向けて ②旧優生保護法下において実施された強制不妊手術
- 辻本 達也**(日本共産党)
- ①鉄道の安全対策 ②児童・生徒の口腔衛生対策 ③市立図書館における「不明本」 ④斎場管理センターの諸問題 ⑤公園管理事務所の諸問題
- 6月29日
- 佐々木 敏**(公明党)
- ①議案第72号 明石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定のこと

高齢者をさらに元気に 敬老金支給は継続 高齢者応援企業導入を検討

問 超高齢社会において高齢者の健康促進や元気づくりは大変重要である。市として元気な高齢者へ独自の還元策を検討してはどうか。

また、敬老金支給の継続や高齢者を応援する企業の募集について見解を問う。

答 本市は、こどもを核としたまちづくりを進めているが、子どもだけでなく、全ての市民に本人目線で

寄り添うやさしいまちづくりを基本としている。高齢者は社会や地域の支え手であり、長く元気に活躍できるように応援することが市の役割である。医療や介護サービスを受けていない高齢者が今後も健康長寿であり続けられるように、市としても国と相談しながら還元策を検討していきたい。

敬老金については、すでに廃止している市もあるが、本市では77歳、88歳、100歳の市民を対象に、基本的には民生児童委員を通



地域で元気に活躍できるように

じ手渡しで支給している。高齢者の生活状況を確認するなど地域の見守り活動の一環として強化を図りたい。

また、高齢者応援企業は、現行の子育て応援企業の仕組みを参考に、9月頃の導入に向け早急に検討を行う。

また、高齢者応援企業は、現行の子育て応援企業の仕組みを参考に、9月頃の導入に向け早急に検討を行う。

知っていますか ヘルプカード・ヘルプマーク 効果的な普及と啓発を

問 ヘルプカードとヘルプマークについて、普及啓発ポスターや案内パンフレットを市内で目にする機会が少なく、どれくらい周知できているのか疑問だ。当事者も含め、今後どのように普及、啓発していくのか。

ヘルプカードは、障害等のある人が必要な

支援を受けられるように、当事者の意見を取り入れ、市が独自に発行している手のひらサイズのカードである。広報あかしやホームページで情報を掲載したほか、市民センターの窓口等に啓発用リーフレットを設置し、これまで約5000枚を交付した。

また、県は、ヘルプマークを266個交付しており、今後は、啓発ポスターを作成すると聞いている。

本市においては、独自の啓発方法として、ディスプレイに広告デ



支援をつなぐカード

ータを表示する印刷費用がかからないデジタルサイネージや、電車等の優先座席の窓に啓発用ステッカーを貼付するなど、市内だけでなく、広域において効果的な啓発となるように検討を進めていく。

ヘルプカードは、障害等のある人が必要な

子どもを健康被害から守る 通学路での受動喫煙対策を

問 受動喫煙防止のため、通学路における歩きタバコ禁止条例を、罰則規定を設けて制定してはどうか。

また、高齢者応援企業は、現行の子育て応援企業の仕組みを参考に、9月頃の導入に向け早急に検討を行う。

健康への影響が大きい子どもや患者等への配慮、施設の種類や場所といった考えを掲げている。

本市は、あかし健康プラン21の重点項目に受動喫煙防止対策を掲げており、今年4月に保健所を開設したことからも、取り組みを一層強化する。具体的には、地域での出前講座、市民ボランティアの活動支援、妊婦や乳幼児

の保護者への啓発等を行う。

通学路における取り組みとしては、受動喫煙防止に関する健康教育、情報や啓発物の提供、看板やポスター等で周知やマナー啓発を行い、市民の意識向上を図っていく。条例制定も手段の一つと考えるが、まずは子どもを受動



喫煙はエリア内で (明石駅前)

学校図書館 蔵書の充実と 司書配置を拡充

問 学校図書館の運営状況と国が整備すべき蔵書冊数として定めている図書標準の達成状況、並びに学校司書の配置について聞く。

学校図書館の目的は、教育課程の展開と児童生徒の教養を育成することである。具体的に

は、児童生徒の読書活動や指導の場である読書センター、学習活動を支援して授業内容を豊かにし、その理解を深める学習センター、教職員の情報ニーズに対応したり、児童生徒の情報収集や選択、活用能力を育成する情報センターの役割を担っている。蔵書は、学校図書館図書標準に示された冊数を達成しており、毎年内容の充実と更新を図っている。学

校司書の配置については、平成29年度にモデル事業として小中学校8校に3人を配置した。30年度は24小中学校に8人配置し、1人当たり3校を担当している。この効果は大きく、今後も拡充していきたい。また、学校司書のスキルアップのために、採用時の研修をはじめ、配置校での取り組みや課題を共有するため、学校司書が一堂に集まる機会を設けている。

は、児童生徒の読書活動や指導の場である読書センター、学習活動を支援して授業内容を豊かにし、その理解を深める学習センター、教職員の情報ニーズに対応したり、児童生徒の情報収集や選択、活用能力を育成する情報センターの役割を担っている。蔵書は、学校図書館図書標準に示された冊数を達成しており、毎年内容の充実と更新を図っている。学